

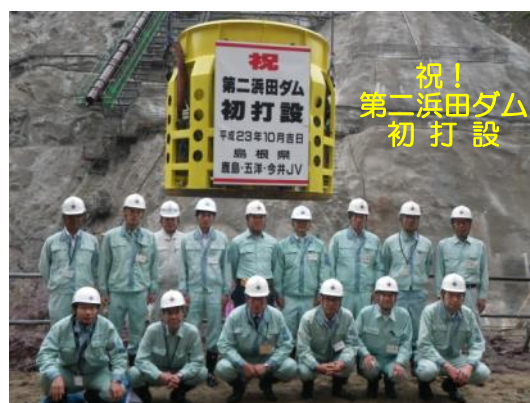
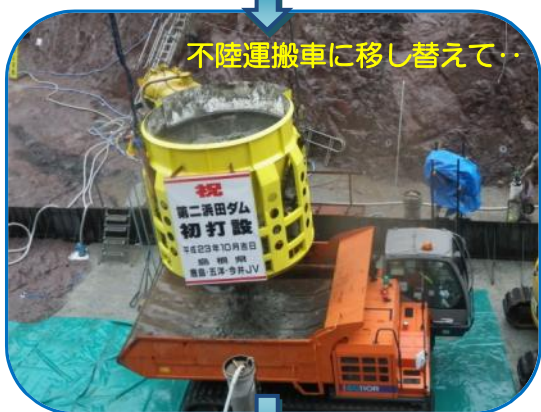
浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

第二浜田ダム本体ダム初打設式を行いました

本体ダムについては、平成22年4月から基礎掘削を開始し、この7月に基礎掘削を完了しました。これから本格的に本体ダムのコンクリート打設が始まりますが、10月5日（水）、関係者により初打設式を行いました。

初打設に先立ち、神事が執り行われこれからの工事の安全を祈願し、その後工事担当者の「打設開始！」の合図とともにケーブルクレーンにより大型バケットに入れたコンクリートを運搬し、河床で待機している不陸運搬車に移し替え、所定の位置まで移動して、無事にコンクリートを打設しました。

今後、本体ダムのコンクリート約31万立方メートルを2年余りかけて打設する予定です。



小学校の「現場見学会」を行いました

第二浜田ダムの工事現場では、随時現場見学会を行っています。今年も地元の方や学校など多方面から視察、見学に来場されており、10月には雲城、原井、松原小学校の3校の現場見学会を行いました。

この現場見学会では、第二浜田ダムの役割や工事概要などの説明をした後、工事現場に移動し、本体ダムの様子が一望できる展望台から工事の状況を見学し、工事により濁った水を薬品により浄化する実験を行いました。みんな熱心に観察していました。

また、第二浜田ダムで使用するコンクリートの材料となる石（骨材）は、最も大きいもので約15cm（通常のコンクリートは4cm以下）ありますが、その石にみんなが願い事などを書きました。この石は実際にコンクリートの材料として使用され、第二浜田ダムの中に永遠に残ることになります。

この見学会を機会に少しでもダムのことを理解し、興味を持っていただけたらと思っています。

これから工事はコンクリート打設が本格化し、工事見学には絶好の時期となります。ダムのような巨大な構造物を作っている様子というのは滅多に見る機会はありませんので、見学をご希望の方は事務所までご連絡ください。

ダム建設機械「バイバック」の紹介

第二浜田ダムの建設工事では、特殊な建設機械が使用されていますが、その中の一つに「バイバック」と呼ばれる機械があります。

これは、先端についている複数本の棒状バイブレーターを振動させることにより、大量のコンクリートを効率よく締固める機械です。

この作業により緻密で頑丈なコンクリートダムが作られていきます。

雲城小学校



原井小学校



松原小学校



この棒状バイブレーターが振動してコンクリートを締固めます

お問い合わせ先

安心して暮らせる浜田のために！ 島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0015 島根県浜田市竹迫町 2373-4

TEL 0855-22-8215 FAX 0855-22-8006

ホームページ：<http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>

メールアドレス：hamadakasen@pref.shimane.lg.jp